

令和6年度 電力利用効率化講演会を開催しました

省エネルギー月間行事の一環として、省エネルギー及び電力有効活用の啓発・推進を目的とした講演会を、九州電力株式会社と共催でWeb形式で開催いたしました。

国の省エネルギー政策や省エネ支援策の開設、また、企業等の省エネルギー改善事例や主要メーカーの省エネルギー製品・システムを紹介する講演を実施いたしました。

期間を通じて約1,200件のアクセスをいただき、「各講演が省エネ推進の参考になった」といったご感想をいただきました。講演の概要は以下のとおりです。

- 1 聴講期間 令和7年2月1日（土）～ 令和7年2月28日（金）
- 2 聴講方法 講演動画が視聴できるURLを賛助会員に送付
(インターネット環境があれば、期間中はいつでも・何度でも視聴が可能)
- 3 講演者及び講演内容 下表のとおり

テーマ	講演者、「講演タイトル」	講演内容
省エネルギー政策の動向	九州経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課 「省エネルギー政策の動向」	国内外のエネルギー情勢を踏まえ、エネルギー消費側に対する省エネ取組みの更なる強化、及び、省エネ推進・非化石エネルギー転換・電気需要の最適化に向けたイノベーションの一層の促進といった省エネ政策の今後の動向を解説。 また、令和6年度補正予算における省エネ支援政策パッケージに関して、支援対象となる範囲や規模の拡大等について解説。
	(一社)日本エレクトロヒートセンター 「産業用ヒートポンプでGXに貢献」	産業分野における熱利用の現状と未利用熱活用の重要性、及び未利用熱活用におけるヒートポンプの有効性(省エネ、省CO ₂)とヒートポンプ導入を効果的に行うためのポイントを解説。 製造業におけるヒートポンプ導入事例として、飲料・自動車・化学業における加熱・冷却工程、乾燥工程、廃水濃縮工程への導入事例を紹介。
省エネルギー改善事例紹介	(一財)省エネルギーセンター 「2050カーボンニュートラルに向けて」 ～省エネの進め方と診断事例～	エネルギー管理における継続的なPDCAの重要性を説明し、熱・電気各分野の代表的な省エネ技術を解説。 同団体が実施している「省エネ最適化診断」については、中小企業を対象にエネルギー診断の専門家を派遣し効果的な対策を提案しており、その進め方を説明。また診断結果を活用した省エネ事例も紹介。
	ダイキン工業㈱ 「カーボンニュートラルへ向けたダイキン工業の取組み」	自社工場「臨海第2工場」における省エネ取組みを紹介するとともに、空調の改善による工場の省エネの進め方、更には作業者の快適性と工場の省エネを両立する「タスク&アンビエント空調」について解説。 また、最高90℃の温水を供給可能でボイラーを置換できる「循環加温ヒートポンプシステム」の自社製品を紹介。併せて、自社導入実績に基づくエネルギーコスト及びCO ₂ の削減効果を紹介。
省エネルギー製品・システム紹介	日本キヤリア㈱ 「カーボンニュートラルとヒートポンプ熱源の促進について」	2050年カーボンニュートラル実現には、発電における低炭素化とともに低炭素化される電気の利用拡大(電化)が必要。 吸収式冷温水機等の電化を可能とする「空冷式ヒートポンプ」の自社製品を紹介。既設冷温水機との設置互換性が高く設備更新工事の工量・期間及び廃棄物の削減が図れること、ZEB化の判定指標であるBEI値の算定上優位な「空冷式モジュール型」の選択肢が豊富であること、といった特長を説明するとともに、同製品導入によるCO ₂ 削減事例を紹介。
	㈱前川製作所 「自然冷媒を用いたヒートポンプの紹介と導入事例のご紹介」	エネルギーコスト及びCO ₂ 排出量の削減に有効な自社ヒートポンプシステムを紹介。空気や水という「自然冷媒」を用い、熱水(65～90℃)や冷水(-9～35℃)、熱風(60～120℃)を供給可能。 また、生産性向上・作業環境改善・乾燥工程でのCO ₂ 排出量削減などを実現した同社ヒートポンプの導入事例を紹介。